

基調講演

イノベーションと学問の関係性

Interaction between innovation and science

05

坂本修一 shuichi.sakamoto.r9x@cao.go.jp

内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付総括参事官

今、社会は大きな変革期にある。第5期科学技術基本計画においては狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く未来社会の姿として Society5.0 が提唱されたが、それはサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)が高度に融合することにより人々に豊かさをもたらす社会とされている。

このような構造変化の中で知識・データは社会、産業の基盤を支える極めて重要な資源となり、大学の社会的役割についても変革が求められる。その変革とは、新たな知識・技術及び人材を生み出すことを軸に、大学がイノベーション・エコシステム形成において中核的役割を果たすことと言える。企業、大学、地方自治体などイノベーション・エコシステムを構成する様々なプレイヤーが知識・技術、資金、人材を循環させて、共同で価値創造を行い、ともに成長するシステムの構築に取り組むことは、日本の未来にとってなくてはならないものとなっており、大学、学問への期待は大きい。

このように、大学、学問に求められる新たな役割の意義とその観点から重要となる大学のマネジメント改革、政府が展開している政策について概観する。